

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」武蔵小杉校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	2	テナントの面積上、どうしても狭くなってしまいますが、パーティションの使用、ブースの割り振りなど極力工夫しています。	・本年度は環境整備が疎かになっていました。次年度に向けての課題としてしっかり取り組んでまいります。
	②	職員の配置数は適切である	2	2		職員の産休等で配置基準は満たすものの人員不足となっております。職員の採用と育成に努めます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	2	・パーティションが倒れやすいため、特に気をつけています。 ・バリアフリーが難しい環境の為、階段の上り下りの際、指導員が付き添う、ベビーカーの運搬をする等出来る限りの対応をしています。	・リフォーム、移転等を検討しています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	1	・毎日掃除と常時換気をしています。	・備品が古いため、買い替えを進めていきます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5		・管理者がPDまでを行い全員でCAを行っています。	・PDCAサイクルの質を高めていきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		・毎年事業所評価を行い、その結果を共有し上記PDCAに反映しています。	・本年度は例年よりも運営面での粗が目立ちました。会社として改善に取り組んでいきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		・毎年公開しています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2	・第三者ではありませんが、社内での内部監査を毎年行っています。	・個人情報等の関係で外部の監査は難しいですが、療育センターのワーカーさんをはじめとした見学等を積極的に受け入れています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	2	・外部での研修の機会は少ないですが、臨床心理士の管理者/児発管が適宜スーパーバイズを行っています。	・外部研修の機会も設けていきます。

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		・認知発達、適応行動、発達特性の3つの軸でアセスメントを行い、課題設定をし、トップダウンで支援を実施しています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		・必要に応じて Vineland-II 適応行動尺度を使用しています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		児発管がニーズの聞き取り、アセスメント、課題設定を一括して行い、トップダウンで周知し、内容に問題があれば児発管に差し戻す形で支援を行っています。	・昨年度よりも保育園等への訪問を行う事が出来ましたが、その分児発管不在となってしまったので、その点も併せて改善を図ります。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		同上	・職員によるサービス提供の質のバラつきが無くなるように努めていきます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		同上	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1	・発達段階に応じて工夫しています。また定着を図るために同じ課題を繰り返す事はどうしても起きてしまいます。	・玩具等はマンネリ化してしまうため、新しいものを購入していきます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	1	4	集団クラスの開催は検討しましたが、ご希望者同士の時間の都合がつかず開催には至りませんでした。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		・児発管より指示書を出す、前担当者より引き継ぎ等を行っています。	・もう少しゆとりをもって引継ぎが行えるようにしていきます。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2	・その日に行いえない事もありますが、その際は別日に情報共有を行っています。	・同上
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		客観的な記録を取るために、専用のフォーマットにて課題の正答率等を記録しています。	・正答率等を正しく記録するためには、課題の手続きを一定にする必要がありますが、その場合はお子さまの様子に合わせた微かな調整が出来なくなるので、これらのより良いバランスを日々検討しています。
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		法令に基づき半年毎に必ず見直しをしています。	・

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		・児発管が参加し指導員に情報共有を行っています。	・児発管だけでなく指導員も同席出来るように工夫していきます。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5		・1～2件程度行っています。	・支援を行うためにも、定期的な交流等を図っていきます。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			・該当者がいないため評価不能です。	・該当者が出た際は、専門家の指示を仰いでいきます。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			・該当者がいないため評価不能です。	・該当者が出た際は、専門家の指示を仰いでいきます。
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	・必要に応じて関係機関連携や情報共有を行っています。	・円滑な連携を行うためにも、平時より交流の機会を継続して設けていきます。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	・同上	・同上
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	・同上	・同上
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		5	・個別支援のため、左記の様な機会はありません。	・交流がお子さま、他機関双方のニーズに合致していた場合はこれらの機会を設けていきます。
保護者への説明	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	2	10月に療育センター主催の連絡会に出席しました。	
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		・個別支援計画と毎回の支援のフィードバック時に行っています。	・情報共有の機会はしっかりと確保していきます。
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5		・ペアトレという形では行っていませんが適宜お子さまとの関わり方等をお伝えしています。	
保護者への説明	㉛	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		・契約時に重要事項説明書にてお伝えしています。	
	㉜	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5		・法令に基づき必ず同意を得た上で支援を行っていますが、今年度は説明が不十分な事がありました。	まずは年度内に全員と面談の機会を設けます。

責 任 等	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		・適宜、ご相談はお受けしていますが、今年度は人員配置の関係上、面談の機会が減ってしまいました。	・面談の機会の少なさは弊所の課題です。急ぎ改善していきます。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5	・保護者同士の連携については、非常にデリケートな側面があるため、敢えて行っておりません。	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		・ご相談や申し入れについては、その都度対応させて頂いております。	・対応が十分でない際はお気軽にお申し付けください。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	4	・支援の準備や振り返りに時間が必要なため、これらの作成は見送ってきました。	・来年度は、時間的な余裕があれば作成していきたいと思っております。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	5		・個人情報に当たる情報や支援をする上で知りえたエピソード等で保護者様の許可を得たものを除いては、一切外部に持ち出していません。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		・意思疎通を図るためにも言語・コミュニケーションの支援を行っています。また必要に応じて面談の機会を設けています。	
非 常 時 等 の 対 応	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5	・地域住民の招待等は個人情報の観点から今後も予定していません。	・関係機関の見学等は毎年受け入れを行っています。
	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	2	3	・各種マニュアルは完備し一部を掲示しています。	
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	4	・個別支援のため利用者参加の訓練は行っていませんが、避難経路や避難先の把握等は適宜行っています。	・利用者参加の避難訓練は保護者様と話し合い慎重に検討していきます。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	1	・基本的な情報は把握しています。	
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				・食事対応等を行っていないため評価不能です。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		・毎月必ず1件以上、ヒヤリハットやそれに準ずる記録を残し、事	・対応は「気をつける」等ではなく具体的な「仕組み」を考える事で行っています。

				故防止に活用していま す。	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する 等、適切な対応をしている	4	1	社内で虐待防止委員会 を設立し、指導員が参 加しています。また虐 待防止チェックリスト 等も適宜使用して児発 管より研修を行ってい ます。	今年度より、虐待防止のた めに2月に1回、全件聞き 取りを行っていきます。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについ て、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に 説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載 している	5		・重要事項説明書と個 別支援計画にて説明を 行っています。	・身体拘束をしないため にも、適応行動の獲得と発達 特性の緩和に重点を置いて 支援を行っていきます。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」武蔵小杉校

保護者等数（児童数）：39件 回収数：28件 割合：

71%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	23	5				今年度は職員も増えた関係で、例年よりも手狭になってしまいました。駅から5分圏内で引っ越し先を探していますが2年以上空きが見つからない状況です。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	23	5				本年度は産休等で人員基準は満たすものの人員不足となり様々な面でご迷惑をおかけしました。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	20			8		・本来であれば個室等が望ましいのですが、パーテーションでの対応をしております。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	25	3				
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	28					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	22	2		4		・支援内容についてはフィードバック時にお話させて頂いております。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	26		2		・計画の説明がない。	・弊所の落ち度です。年度内に全員と面談の機会を持ちます。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	26	2				
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	15	0	7	6		・園訪問、連携は都度行っておりますので、お気軽にお申し付けください。

保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22	6				
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか。	26		2	0	計画の説明がない。	・弊所の落ち度です。年度内に全員と面談の機会を持ちます。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	19			9		・適宜頂いたご相談には対応させて頂いていますが、改めてペアレントトレーニングという場は設けておりませんでした。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	28					
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18	2		8		・今年度は面談等の機会が例年よりも極端に少なかった事は把握しています。大変申し訳ございません。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2		9	17		・保護者様同士の連携については非常にデリケートな側面があるため、敢えて行っておりません。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	26			2		・相談や申し入れがあった際は、管理者主導の元で迅速に対応しています。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	28					・保護者様とは毎回の支援でお話をさせて頂いています。お子さまに対しては意思疎通を図るためにも言語面での支援等を行っています。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	11	6		11		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	26			2		・職務上知りえた情報は仮に関係機関同士の会議であっても保護者様の了承なく外部で漏らす事はありません。
非常時等	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	12	6		10		・各種マニュアルはありますが、周知・説明は足りていませんでした。また個別支援という特性上、お子さまが参加する形での訓練は

の 対 応							行っておりませんでした。
	②①	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	4		12	・職員での打ち合わせ、訓練等は行っておりますが、個別支援という特性上、お子さまが参加する形での訓練は行っておりませんでした。
満 足 度	②②	子どもは通所を楽しみにしているか	28				・職員一同、お子さまの「できた」「わかった」だから「楽しい」を大切にしたいと思っております。 また、我々としみしても、お子様だけでなく親御様の納得と満足大切にしていますので、少しでもそういった様子があれば是非教えて頂きたいと思えます。
	②③	事業所の支援に満足しているか	26	2			・皆様に満足して頂けるよう、職員一同研鑽に励んでいきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。